



たまはらっこ



～ 明るく たくましく 誠実に ～

令和8年3月18日発行

次のステージをめざして！

毎朝、教室から子どもたちの歌声が聞こえてきます。

3月の歌は、「大空がむかえる朝」です。

「あの大空を見上げながら 力合わせ 助け合い 私達も続く
さよなら さよなら忘れないでね

ともに過ごした日々を いつまでも」

(作詞：あだちやえ 作曲：浦田健次郎 より 引用)

私はこの歌を聞いていると、1年間がんばってきたいろいろな学年の子どもたちの姿が次々に思い出されてきます。そして成長の跡をひしひしと感じます。

いよいよ明日は卒業式。他の学年も、修了式を入れて今年度の学校生活はあと3日となりました。

卒業生はもちろん、他学年の子どもたちも、地域の方々に支えられ、仲間と一緒に今年度経験してきたすべてのことが力となり、自信をもって次のステージへはばたけますように・・・



進級や入学に向けて...

「かけはしプログラム」として、新1年生が小学校での学習や生活を体験して、安心して入学できるようになることを目的とした取組を行っています。でも、これらの取組は、新1年生のためだけではありません。園児との関わりを通して、もうすぐお兄さんお姉さんになる1年生にとっても、大きく成長するきっかけになります。穏やかに声をかけ、手をつないだり目線を合わせたりする姿は、優しさや自信にあふれていました。

また、3学期になって、上の学年の授業を参観したり、学習の成果発表を聞いたりする機会を多く持つてきました。これらの体験を通して次の学年へのイメージをもつことは、進級への安心感ややる気につながります。そして、上級生にとっては、自信や誇りを持ち、自分の成長を感じる機会にもなります。



ありがとうの気持ちを行動に！

ボランティア連絡会・縦割り班ありがとう会・卒業プロジェクト…

3月の月目標は「感謝」

- ・まわりの人に対して、感謝の気持ちをもとう！
- ・感謝の気持ちを言葉や行動であらわそう！

と、全校で取り組みました。

そんな中、6年生は卒業プロジェクトとして、日頃お世話になっている地域の方々や家族、先生たちに感謝の気持ちを伝える会をいろいろと企画・運営しました。

ボランティア連絡会では、ボランティアの方々と一緒にゲームを楽しんだり、校歌を歌ったり、感謝の手紙をお渡ししたりしました。感動してくださったボランティアさんの様子を見て、「自分も将来、ボランティアをやりたい！」という子どももいて、温かい心の輪が広がっていくことをとてもうれしく思いました。

また、地域の方々のお力もお借りしながら、玉原のシンボルであり、大切な憩いの場・遊び場でもある志池の清掃を行いました。普段何気なく利用しているけれど、思った以上にごみが落ちていることに驚きや怒りを抱き、「地域を大切にしたい」という思いを強くもつことができたようです。

縦割り班のありがとう会では、1～6年生で楽しく遊んだ後に、下級生と6年生が互いに感謝の気持ちを伝え合う時間をもちました。優しくしてもらって嬉しかったことや仲良くできて嬉しかったことを言葉に表す様子を見て、とても温かい気持ちになりました。



♡「ありがとう」があふれる3月♡

一部しか紹介できていませんが・・・他にも、大掃除の時間に1年間使った教室や校舎を一生懸命掃除する、お世話になった方にお手紙を書く、折り紙を折ってプレゼントする、何かしてもらった時に自然に「ありがとう！」と声に出す・・・子どもなりに、様々な場所で「感謝」の気持ちを行動に表す姿が見られ、嬉しくなることが多い今日この頃です。子どもたちには、これからも、思いを言葉や行動で適切に表現することを大切にしてもらいたいと思います。

